

**CASIO**  
カシオ計算機株式会社

<http://casio.jp/>



**CASIO**  
CORPORATE REPORT 2013

# 創造 貢献

カシオの経営理念は、「創造 貢献」です。それまでにない斬新な働きを持った製品を提供することで、社会貢献を実現するという意味です。新しい働きを持った製品は、多くの人の生活を助け、社会を進歩させます。あるいは多くの人に楽しみをもたらす、新しい文化を生み出す源となります。新しい製品が普及すれば、そこには新しい市場が生まれ、さまざまな周辺産業が育ちます。カシオはこのように、製品やサービスの提供を通じて、さまざまな側面から社会に貢献したいと考えています。

## Top Message

# 常にゼロから考え、 新しい価値を創造します。

カシオは創業以来、社会に新しい価値をもたらす製品の開発に取り組んできました。小型で高速な計算機の開発によってオフィスでの計算作業を効率化し、個人への電卓の普及によって、計算を誰にでも手軽にこなせるようにしました。これによって人は計算の作業から解放され、より創造的に考えることに時間を費やせるようになりました。科学技術用計算機や関数電卓などの高機能な製品の開発により、科学や数学の発展にも貢献してきました。以来、幅広い知識を楽しみながら学べる電子辞書、計画し行動するのに不可欠な時計、誰にでも演奏が楽しめる電子楽器、一瞬の感動をとらえるデジタルカメラ、ビジネスの革新を考え出すための情報機器といった、人の考える力や創造性を支える製品の提供により、人間の知的創造を支援しています。

私たちの開発ポリシーは「0→1」です。新しい価値を世の中に提供するために、既成概念にとらわれずにゼロから考え、本当に必要とされているものは何かを絶えず考えています。製品を作って提供するという従来のメーカーのビジネスの枠にとらわれず、端末とネットワークを連携させたサービスの提供などの新たな事業にも取り組んでいます。常に新しい分野に挑むことが、カシオが社会に対して果たすべき使命です。

斬新なコンセプトを製品として実現させるために、多くの製品の開発により培ったデジタル技術を駆使しています。また安心して使える製品を提供するため、精度の高い製造ラインを構築し、厳重な検査を行うなど、品質を高める不断の努力を続けてい



ます。使う喜びを感じるブランドの提供も重要な価値です。今年で誕生から30周年を迎え、世界中で支持されているG-SHOCKは、その代表といえます。そして価値ある商品をグローバルな販売ネットワークで、世界のユーザーの皆様へお届けします。

カシオは絶え間なく技術を磨き、革新を繰り返しながら、社会の進化に貢献してまいります。

代表取締役社長 榎尾 和雄

# Connect with Value

## 人間の 知的創造力を 高める

学ぶ、知る、表現する、経営する。

人間の生活は、知的な創造活動の連続です。

あらゆるフィールドで、その可能性を高められたら、  
世界はもっと豊かで良いものになる。

人々が考える力を発揮し、新たな価値を生み出すために、  
カシオは、デジタルの力を最大限に駆使して、  
独自の製品やサービスを提供しています。

### Contents

#### カシオが提供する価値

学び、知識をえる	5
情報を身につける	7
創造し、表現する	9
経営をサポートする	11

#### カシオの強み

開発	13
品質	15
環境性能	17
コミュニケーション	19

グローバルカシオ 21

カシオの歩み/カシオについて 23

グループ主要企業一覧 25

### 学び、知識をえる



### 情報を身につける



### 創造し、表現する



### 経営をサポートする



# 学び、知識をえる

未知なることに興味を抱き、新しい知識を習得することで人間は成長します。カシオは語学や数学などを効率よく学べる製品を通じて、人々の向学心をサポートしています。質の高いコンテンツを豊富に収録し、学校はもちろん家庭やビジネスシーンで役立つ知識をいつでも手軽に得られる電子辞書。そして、世の中の現象を計算式と結びつけて理解できる関数電卓などにより、人々の知的好奇心に応えています。

- 電子辞書
- 電卓
- 電子文具



**EX-word (エクスワード) XD-N6500**  
生活に役立つ多彩なコンテンツを収録した電子辞書



**fx-CG20**  
事象の回帰計算やグラフ化が可能なグラフ関数電卓



**JS-20DT**  
見やすさ、使いやすさを追求した本格実務電卓



**memopri (メモプリ) MEP-T10**  
手書きメモを付箋タイプのテープに印刷できる小型プリンター



**NAME LAND (ネームランド) KL-G1**  
ラベルの印字スピードをアップしたラベルライター

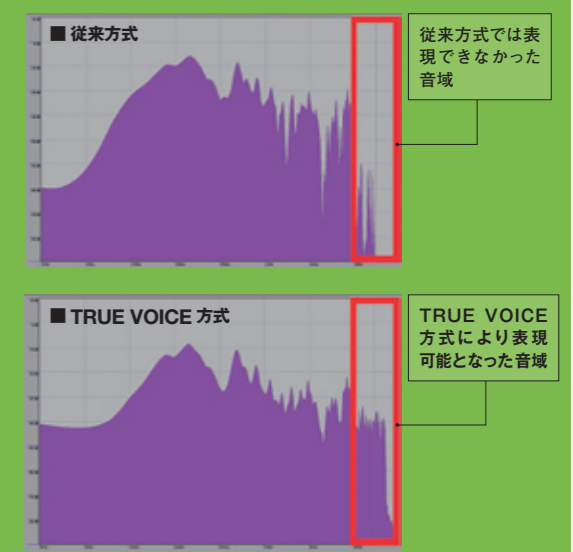


**EX-word (エクスワード) XD-N4800**

動画やテキストで英語を学習できる高校生向け電子辞書

## ▶ Technology ネイティブの生きた発音を追求

電子辞書でネイティブによる英語の発音を再生するには膨大な音声データを要するため、圧縮技術を用います。その際、大量のデータが必要な高音域を抑えれば圧縮効率は高まりますが、そこに含まれる英語の子音、特に破裂音や摩擦音の成分が減ってしまいます。そこで、カシオは独自の音声データ圧縮技術「TRUE VOICE方式」を開発。異なる特性を示す高音域と低音域を分離して処理することで、高音域を生かしたまま圧縮効率を向上。ネイティブの発音をクリアに再生することを可能にしました。「読む」「書く」に加え、「聞く」「話す」英語を学ぶことを先進の技術でサポートしています。



# 情報を身につける

時刻は生活に欠かせない重要な社会インフラであり、会話は意思を伝えるための大切なコミュニケーション手段です。カシオは、あらゆる行動の基本となる情報を身につけて、幅広いシーンで生かせる製品を追求しています。時計は、正確な時刻に加え、方位などの時刻以外の情報を伝えることで人々の行動半径を広げます。また、コミュニケーションツールでは、人と人が会話できるフィールドを拡大し、水中においても感動を共有できる価値を生み出しています。



**G-SHOCK (Gショック)**  
GW-A1100

方位計測が可能な遠心重力・振動に強い耐衝撃腕時計

- 時計
- ダイブトランシーバー



**G-SHOCK (Gショック)**  
GB-6900AA  
iPhoneなどのスマートフォンとつながる耐衝撃腕時計



**Baby-G (ベビーG)**  
BGA-170  
立体的な時字が幻想的に光る女性向けタフネスウォッチ



**OCEANUS (オシアナス)**  
OCW-S2400  
操作性を追求したフルメタルの電波ソーラークロノグラフ



**SHEEN (シーン)**  
SHW-1507SG  
世界各都市の時刻合わせが簡単な女性用メタルウォッチ



**EDIFICE (エディフィス)**  
EQW-A1200DB  
躍動感のあるデザインに方位計測機能を備えたクロノグラフ



**PRO TREK (プロトレック)**  
PRW-3000  
方位・気圧/高度・温度を高精度で計測できるアウトドアウォッチ

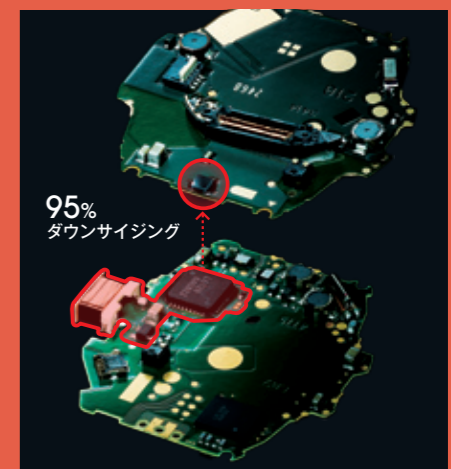


**Logosease (ロゴシース)**  
LGS-RG004  
水中で会話を楽しめるポケットサイズのダイブトランシーバー



## ▶ Technology 自然現象をとらえるセンサーを革新

カシオは独自のセンサー技術の粋を集め、方位や気圧、温度などの自然現象を感知する3種類のセンサーを時計に搭載。エレクトロニクス技術ならではの機能性をもたらしています。中でも方位を計測する磁気センサーは、従来比95%の小型化と90%の省電力化を実現。同時に、気圧・高度を測るための圧力センサーも精度を高めました。小型磁気センサーは、アナログウォッチへの搭載が容易になり、一つの針で複数の機能を表示する駆動システム「マルチミッションドライブ」との組み合わせで、時刻やストップウォッチ、ワールドタイムなどに加え、方位を針で指し示すなど、新たな価値を提供しています。



従来より小型化した磁気センサー

# 創造し、表現する

自分の思い描いた通りに表現したい。カシオは、たくさんの方が心に抱くこの願望を、特別なスキルがなくてもかなえられる製品づくりを目指しています。例えば、一瞬しか訪れない感動のシーンをプロカメラマンのように逃さずとらえて大切に残す。あるいは、ピアニストのように優雅な演奏を楽しむ。そんな人々の知的な創造活動をサポートしています。



**EXILIM (エクシリム)  
EX-ZR700**

光学18倍ズームを搭載した高速シャッターのデジタルカメラ



**EXILIM (エクシリム)  
EX-TR350**

より美しく自分撮りができるフリースタイルのデジタルカメラ

**XW-G1**

クラブミュージックの演奏に最適なグルーヴシンセサイザー



**光ナビゲーションキーボード  
LK-115**

光る鍵盤で楽しみながら演奏のレッスンができる電子キーボード



**Privia (プリヴィア)  
PX-850**

グランドピアノの響きを追求したスタイリッシュな電子ピアノ



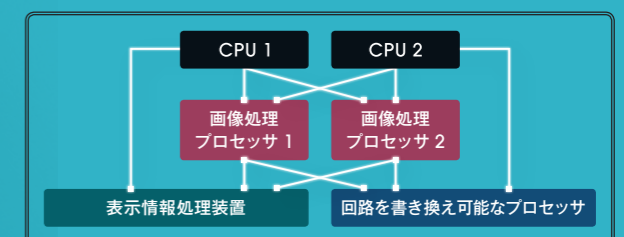
**EXILIM (エクシリム)  
EX-ZR1000**

自由なアングルで素早く快適に撮影できるデジタルカメラ

※画面はハメコミ合成です

## ▶ Technology シャッターチャンスを逃さない 高速画像処理エンジン

次から次へと訪れる一瞬のシャッターチャンスを確実にとらえるために、カシオは従来からの高速連写機能に加えて、デジタルカメラの起動からフォーカス、画像処理までの全てをスムーズかつ素早く実行する独自の高速画像処理エンジン「EXILIMエンジンHS Ver.3」を開発しました。二つのCPUと二つの画像処理プロセッサを備え、撮影から画像の保存までの複数の処理を、それぞれの役割に振り分けて同時に行うことにより、高速化を実現。撮影後に一つの回路がすぐさま画像処理を開始し、その間にもう一つの回路が次の撮影に取りかかれるので、連続してシャッターを押す撮影もストレスなく快適にこなすことができます。



# 経営を サポートする

オフィスや店舗、倉庫などビジネスの最前線の合理化は、業務の効率を高めるだけでなく、経営の強化にもつながります。カシオは、信頼性が高く機能的な端末と、より戦略的なビジネスの体制を構築できるソリューションの提供によって、さまざまな業種や業務の現場を情報化し、経営の戦略的な展開を可能にします。



**IT-3100**  
レシート発行が可能なプリンタ一体型のハンディターミナル



**Paper Writer (ペーパーライター) V-N500**  
手書き文書を取り込める企業向けタブレット端末



**VX-100**  
顧客・予約・売上データを管理できる店舗支援端末



**XJ-H1750**  
光源寿命2万時間の高輝度データプロジェクター



**薬一(らくいち) BX550R**  
販売管理・会計・給与など中小規模企業の経営支援基幹システム



**Smart Communicator (スマートコミュニケーター) IT-300**  
店頭での情報共有を可能にする業務用情報端末



**SPEEDIA (スピーディア) GE6000**  
高速カラー・150万枚印刷の高耐久ページプリンタ



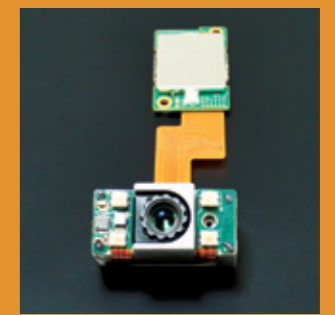
**金型**  
緻密なプラスチック成形を実現する高精度金型



**CASIO Signage (カシオサイネージ) ZR700**  
強力なアテンション効果を発揮する店舗向け販促支援ツール

## ▶ Technology 遠近のバーコードを素早くスキャン

業務用ハンディターミナルで2次元バーコードリーダーを読み取るための小型・高速駆動のカメラモジュールを、デバイスメーカーと共同開発しました。機械的駆動がない液体レンズを用いて小型化とスピーディなピント合わせを実現し、さらにバーコードまでの距離の変化に応じて最適な処理手順を実行するなど制御プログラムを高速化。バーコードが近くにあっても遠くにあっても素早く正確に認識し、読み取ります。使われる現場を知り尽くしたカシオだから生まれた技術的な発想です。



液体レンズを採用したカメラモジュール

### デジタル技術

不可能を可能にする

### 省電力

小さなパワーで賢く動く

### 耐久性

いつまでも使える安心感

### 小型化

小さく、薄く、軽く

### 使いやすさ

誰にでも使いやすく

## 進化を続けるコア・テクノロジー

カシオは、斬新な発想を製品として実現させるために、開発の核となる5つのコア・テクノロジーを絶えず進化させています。

# 開発 Development

カシオの開発姿勢は、0から1を生み出すこと。

お客様の潜在ニーズをとらえる独創的な商品企画力とデザイン力。

それを実現する高水準の技術で、新たな価値を生む製品開発に取り組んでいます。

## 企画

### 従来の発想にとらわれず 本質を追求する「0→1」の開発姿勢

カシオは、製品を使う人の立場で発想し、時には長年培ってきた技術的な資産にとらわれず、常に新しい着眼点で企画に取り組んでいます。高速画像処理エンジンにより、思い通りに次々とシャッターが切れるデジタルカメラがその好例。「我が子が自転車に初めて乗れた瞬間」を高速連写カメラで撮り損ねてしまった開発者・西坂信儀の苦い経験から、新しいアイデアが誕生しました。自ら手掛けた高度な連写機能も、いつ何度訪れるか分からないシャッターチャンスを実際に撮るには適していないと実感。高速連写で全てをとらえ



いつ訪れるかわからない子供の笑顔



QV事業部 西坂信儀

ようとする今までの考えを改め、「本当に残したい一瞬を誰もが手軽に撮影できるカメラ」という原点に立ち戻って考案したものでした。従来の発想にこだわらない柔軟性と、本当に求められているものが何かを考えること。それがカシオの原動力となっているのです。

## デザイン

### ライフスタイルの多様性を表現し 持つ人の感性を主張

カシオでは、製品のデザイン表現に「CMF=Color (色)・Material (素材)・Finish (仕上げ)」という手法を採用しています。製品のバリエーションをつくる際に、カラーだけでなく、素材の質感や表面の仕上げなども幅広く用意することで、同じモデルでも多様な表現を可能にする手法です。例えばG-SHOCKでは、プラスチック素材の上に特殊な印刷やメッキ処理を施すことで、実際の金属や天然皮革では難しい新しい感覚のデザイン表現を可能にしています。時計の場合、その手法は針や文字板はもちろんバンドにまで反映され、強烈な個性を放ちます。製品の多様で斬新な表情が、持つ人の自己主張になる。そんな新しい価値の提供を目指しています。



Color (色)

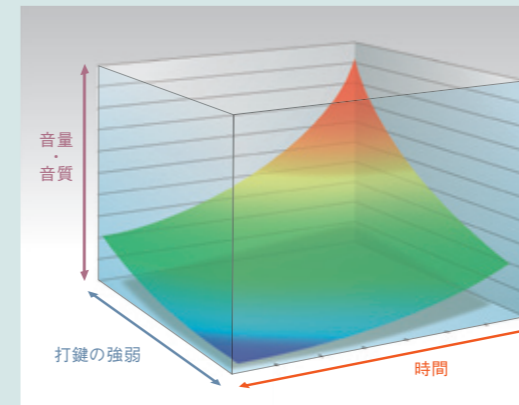
同じモデルでのバリエーション

Material (素材)

Finish (仕上げ)



特殊な表面加工により、皮革製品のような素材感を表現



時間の経過で自然に音色が変化する「AiR音源」

## 技術

### 不可能を可能にする技術で 新しい感動を創出

カシオは、コア・テクノロジーの一つであるデジタル技術を駆使し、さまざまな分野で不可能を可能にすることに挑み続けています。例えば電子ピアノでは、グランドピアノのような豊かな音色や響きを追求した「AiR音源」を開発。鍵盤を強く弾けば明るく力強い音になり、弱く弾けば優しく繊細な音を表現できるほか、連続する打鍵の強弱の変化もなめらかに奏でることができます。さらに、筐体や数多くの弦が同時に共鳴するグランドピアノ独特の響きをはじめとする、発音から消音までの時間軸でみた3次元的な音色変化を加えることで、自然で深みのある音を実現しました。これらは、鍵盤一つひとつの音を収録して再生するPCM音源方式だけでは不可能で、グランドピアノ内部で起こる複雑な響きの音色変化を、高速演算処理で瞬時にシミュレーションをすることで実現しています。不可能とわれてきたことを可能にし、次の領域へと進化し続けるカシオのデジタル技術の粋がここにあります。



## 設計

### 設計段階から試験を繰り返し、信頼性を追求

カシオでは、製品の品質レベルを高めるべく、まず設計段階においてプロトタイプによる性能テストを繰り返します。高温・低温下、乾燥あるいは湿った空気の中、静電気の発生や停電時の影響、さらに振動、落下、光、塩水などに対する環境性能を徹底検証します。高所での使用が想定されるハンディターミナル「DT-X8」を例に挙げると、3メートルの高さからの落下に耐える性能を実現するために、衝撃吸収素材の採用や、小型軽量化による衝撃緩和を追求。実際の活用シーンでその性能を発揮できるかどうかを、独自の落下試験機で検証しています。さらに、過酷な耐塵・防浸試験も行い、あらゆる面で信頼性の高い製品の設計に努めました。図面やシミュレーションによる机上の理論だけで判断せず、さまざまな性能テストを実施。お客様が安心して長く使える品質レベルを得てから、製造プロセスに移しています。



独自の350cm自動引き上げ式カスタム落下試験機

# 品質 Quality Policy

いかに高性能な製品も、お客様から信頼を得る礎は品質の高さにほかなりません。カシオは設計段階から、最終製品を世の中へ送り出すまで、妥協のない基準で常に最高品質のものづくりを目指し、実践しています。

## 製造

### 国内でも、そして海外でも妥協を許さない生産体制

山形の工場では、OCEANUSをはじめ、G-SHOCKとPRO TREKの最上級モデルといった高価格帯のブランド時計を、専用の「プレミアムプロダクションライン」で生産しています。アナログムーブメントの自動組立では、微小な部品を正確に組み込む機械と画像認識などによる検査で不良品のないものづくりを追求。また、時計本体の組み立てには専門技能の上位認定者だけを起用し、人間が得意とする時計の針の微妙な位置調整などを担っています。機械ならではの精度と生

産効率に、人間の繊細な感覚を融合させた製造技術で、品質の高い製品を生み出しています。

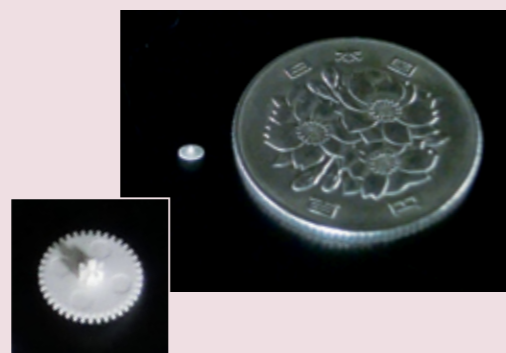
そうした国内で培ってきたものづくりの精神とノウハウは、海外の生産拠点にも継承され、高水準の製品クオリティを達成しています。例えばタイの新工場では、プラスチック部品の成形ラインのクリーン度を高めて不純物の混入を厳しく管理。信頼性の高い良質な製品を、安定的に量産する体制を構築しています。

## 精密部品加工

### 微小な部品もミクロン単位の高い精度で加工

製品の品質を高めるためには、微小な部品一つひとつを高い精度で加工することも大切な要素です。プラスチック部品は、設計データから1000分の1ミリ単位の高い精度で製造した金型に、プラスチック素材を最適な状態で流し込んで成形します。特に、アナログ時計の心臓部であるムーブメントには、微小な硬質プラスチック製の歯車が複数使われています。小さいものは直径が約2ミリ、動力を受ける軸となる突起部は直径わずか約0.6ミリです。側面には歯車同士がかみ合いスムーズに動くように、微細な歯が並んでいます。この歯と歯のかみ合わせが、緩すぎても、きつ

ぎでも製品の品質は保てません。こうしたカシオの精密な加工技術で作られた部品が、安心して使える製品の正確な動作や高い耐久性を生み出しています。



山形のプレミアムプロダクションライン



タイのプラスチック部品成形ライン



# 環境性能 Environmental Performance

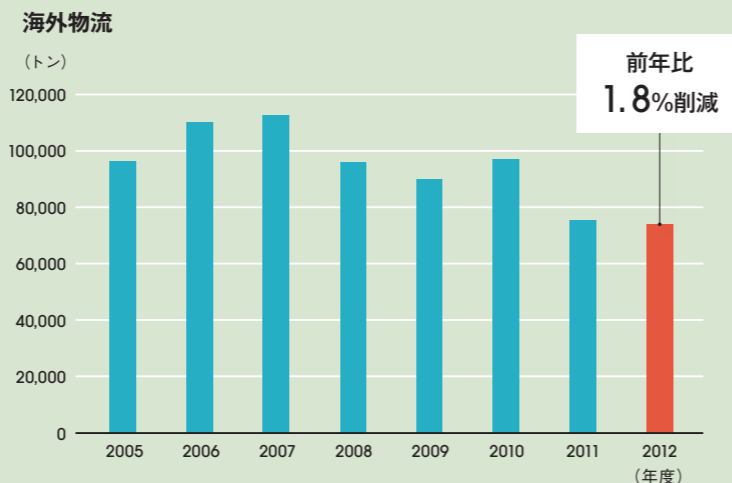
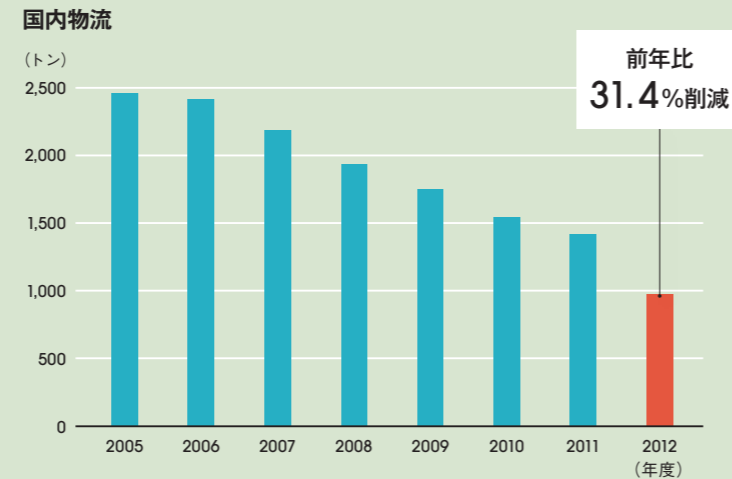
人々が暮らす環境に配慮した製品を届ける。  
そのために、あらゆる事業プロセスで環境負荷を抑える取り組みを実践しています。  
カシオは、未来へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## CO<sub>2</sub>削減

### 輸送時に発生するCO<sub>2</sub>の排出量を抑制

カシオは、輸送距離の短縮や製品の梱包などの工夫により、物流における環境負荷の削減に努めています。欧州や日本国内の物流拠点を統廃合することで、貨物の輸送距離を短縮。国内では、トラックから環境負荷の少ない鉄道を積極的に活用した配送方法にシフトし、輸送時のCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減しました。また、電子辞書については、製品を納めていたトレーを廃止し、梱包する箱の体積を削減。デジタルカメラでは、取扱説明書の詳細内容をウェブで提供してページ数を減らしました。これらの取り組みにより、コンテナなどに積む製品の積載効率を高め、国内外の輸送におけるCO<sub>2</sub>削減を実践し、確かな成果を挙げています。

■日本国内と海外におけるCO<sub>2</sub>排出量の変化



## リサイクル

### 電卓などに再生プラスチックを使用

カシオでは、製品づくりにおいてリサイクル資源を積極的に活用しています。例えば電卓では、国などの公的機関が環境への負荷が少ない物品の選択・購入を促進する「グリーン購入法」に適合した商品を製造・提供しています。電卓の本体ケースや電池ふたなどに、外部から調達した再生率100%のプラスチックを使用。また、レジスターや電子楽器などの一部にも再生プラスチックを利用するなど、貴重な資源を大切に、環境配慮型のものづくりに取り組んでいます。

「グリーン購入法」適合品と再生プラスチック素材



## 化学物質検査

### 法規制の遵守を徹底

電気・電子製品に含まれる化学物質を規制する法律が、各国で次々と施行されています。カシオでは、「RoHS」、「REACH」、「化審法」といった国内外の法規制を網羅した「カシオグリーン調達基準書」を策定。資材購買部門では、部品・材料の調達先に対して、最新の法規制を反映した基準の遵守を徹底させています。開発設計部門では、製品を構成する全ての部品・材料が同基準を満たしているかどうかをデータベースにて確認。さらに、生産工場においては、量産用の部品・材料が基準をクリアしているかどうかをチェックしています。このようにカシオ独自の厳しい基準にもとづいた部品・材料だけが、製品に使用されているのです。



生産工場で行われている徹底した化学物質検査



世界中の若者に共感を広げる「SHOCK THE WORLD」

## 共感

### “G-SHOCK”の 世界観を伝えるイベント 「SHOCK THE WORLD」

G-SHOCKのメッセージを発信するイベント「SHOCK THE WORLD」を、2008年から世界各国で開催しています。1983年の発売以来30年間、たゆまず進化を続け「タフ」であることを追求し続けてきたG-SHOCK。同イベントでは、ファッション、音楽、スポーツ、アートを通じて、若者に「タフネス」を発信しています。G-SHOCKの魅力が全身で感じ、このブランドならではの世界観をファンに共有してもらい取り組みです。

## PICK UP

### スポーツ振興

カシオは、プロスポーツの大会や一流のアスリートのサポートなどを通じて、スポーツの振興を支えています。1981年から30年以上にわたり、日本の男子プロゴルフトーナメントの一つである「カシオ ワールド オープン ゴルフトーナメント」を開催。さらに2013年4月には、高い目標を掲げて世界に活躍の場を広げている石川遼選手のチャレンジ精神に共感し、同選手と所属契約を締結しました。また、米国ではニューヨーク州のヤンキースタジアムでCASIOロゴの看板を掲出しています。こうしたコミュニケーション活動を通じて、企業ブランドの浸透にも力を注いでいます。



プロゴルファー石川遼選手



ヤンキースタジアム



カシオ ワールド オープン

# コミュニケーション Communication

製品やサービスを通じた新しい価値を伝えたい。  
お客様との対話により、今まで以上に豊かで便利な暮らしを実現したい。  
そんな想いからさまざまなコミュニケーション活動を展開しています。

## 教育支援

### 教育現場における 関数電卓の活用を促進

カシオは、関数電卓を数学の授業でより有効に活用してもらう取り組みを行っています。先生方をサポートするチームを設置して、国や地域によって異なる教育現場の課題を交流しながら共有し、先生方が解決方法を考えるための支援をしています。授業における使い方などに関するワークショップも、各地で開催しています。



関数電卓を授業で役立てることをテーマにしたワークショップ

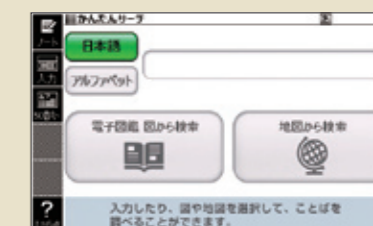
## 顧客満足

### お客様の声に耳を傾け より利便性の高い製品を開発

カシオでは、カスタマーサポート窓口や定期的な調査などで得られた製品に対するお客様の声を採り入れ、機能の改善・強化に結びつけています。例えば、「電子辞書の画面をパソコンなどに大きく映したい」という先生の意見に対し、プロジェクターに接続して画面をスクリーンに投射できる機能を開発しました。また、「電子辞書の検索性を改善してほしい」という声には、調べたい文字を入力するだけで全てのコンテンツから見出し語を抽出できる新機能で応えました。お客様と密にコミュニケーションをとり、顧客満足度の向上を図っています。



電子辞書の画面をプロジェクターで投射



検索性を高めた「かんたんサーチ」画面

[ グローバルカシオ ]

# A Growing Global Brand

1960年代から海外で製品を販売しているカシオ。現在では、取引先やお客様もグローバルに広がっています。高い知名度を持つCASIOブランドの資産を基盤として、人々の生活に役立つ製品を、世界の幅広い地域に深く浸透させています。

## 世界中で信頼され、高い知名度を持つブランド

カシオは、事業品目を中心に、世界の193の国と地域で、CASIOブランドの商標権を取得・保護しています。

また、世界7カ国（日本・アメリカ・ドイツ・ロシア・中国・インド・ブラジル）で実施したブランド調査\*では、調査した全ての国で94%以上の人が「CASIO」のことを知っているという回答し、その想起率の平均値は96.9%に上っています。

\* 2012年、当社による助成想起調査

CASIOブランドを  
権利化した国と地域

193の国と地域

CASIOブランドの  
想起率 (7カ国平均)

96.9%

U.K.  
ゴールドスミス  
Goldsmiths

ビクトリア店 時計マネージャー Mark Chapman氏



## アクティブに行動する お客様を魅了

230年以上の伝統を誇り、イギリス国内に117店舗を展開する高級時計宝飾店「ゴールドスミス」。ロンドン市内にあるビクトリア店の店内には、G-SHOCKを中心としたカシオの時計が並びます。「カシオは、揺るぎない歴史を背景に、強力なイメージを放つブランド。誰もがその名前を聞いたことがあり、製品を所有した経験を持っています」と話すのは、時計マネージャーのChapman氏。G-SHOCKがどんな状況でも正しく時刻を示し、アクティブな行動にも対応する耐久性を備えていることを高く評価しています。「独創的な機能を持つ多彩なラインナップは、行動派のお客様を惹きつけます。どの方も自分に似合う時計を見つけることができるでしょう」。

日本科学未来館

# Miraikan

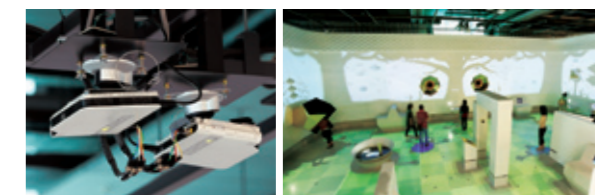
運営事業部 展示開発課 瀬口 慎人氏

Japan



## 来館者の新鮮な体験を演出

東京の日本科学未来館は、楽しみながら先端の科学技術に触れることができるサイエンスミュージアム。常設展示の「アナグラのうた」は、空間情報科学がテーマの体験型展示。センサーでとらえた体験者の動きや生体情報をもとに、映像や歌を生成することができます。「映像の投映に24台のプロジェクターを使っているので、ランプ交換となると大変な作業です。今回LEDとレーザーのハイブリッド光源により明るさと長寿命を両立したカシオのプロジェクターを採用することで、運用面とコスト面の課題を併せてクリアできました」と話す瀬口氏。「当館が扱う科学技術と同様に、常に新しい価値の創造に挑むカシオには、プロジェクターの分野をさらに切り開いてほしいと思います」。



India

インド工科大学  
IIT Bombay

ムンバイ校 教授 Inder K. Rana氏

## 数学教育の進展をサポート

研究水準の高さが国際的にも認められている工学研究機関・インド工科大学のムンバイ校。その数学の授業で教鞭を執るRana教授は、自らが受け持つ学士および修士課程の授業でカシオの関数電卓を積極的に使っています。「多様な関数に対応し、またシンプルな操作で数学の概念を視覚化できるので、学生がより理解を深めることができます」と話す同氏。インド工科大学が進める継続教育プログラムの一部として、Rana教授は先生のための職能開発ワークショップを指揮していますが「同プログラムでも、カシオの電卓を活用しており、インドの数学教育の進展を目指していく上で役立つと期待しています」と語ります。



# History of CASIO

1957 梶尾四兄弟が世界初の小型純電気式計算機「14-A」を商品化、カシオ計算機株式会社を設立

1961 世界初の事務作表計算機「TUC」を開発、製造

1965 トランジスタを採用した電子式卓上計算機「001」発売

1966 電子式卓上計算機を海外に初輸出

1967 海外初の拠点となる「ヨーロッパ事務所」をスイスに設置

1969 山梨県に甲府工場を開設

1970 米国に販売会社「カシオインク」を設立

東京証券取引所第二部に株式上場

1971 世界初のインクジェットプリンタ「タイピュータ」発表

1972 世界初のパーソナル電卓「カシオミニ」発売

東京証券取引所第一部に指定替え

1974 電子腕時計「カシオトロン」発売

1976 電子式金銭登録機（レジスター）「Σ-50ER」発売

1978 海外初の生産会社「カシオ台湾」を設立

1980 電子楽器「カシオトーン」発売

1981 電子辞書「TR-2000」発売

1983 耐衝撃腕時計「G-SHOCK」発売

厚さ0.8mmのクレジットカードサイズ電卓「SL-800」発売

1984 ハンディターミナル「DT-6000」発売

1985 中国初の拠点となる「北京事務所」を開設

1995 液晶モニター付きデジタルカメラ「QV-10」発売

1996 電子辞書「EX-word」発売

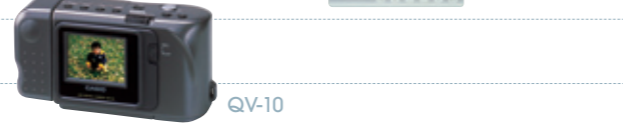
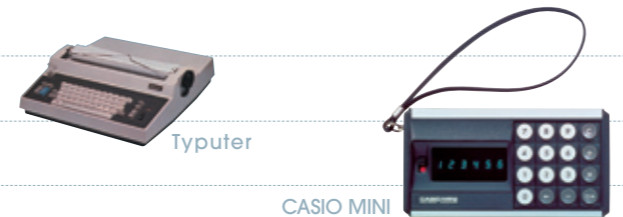
2000 防水・耐衝撃機能を備えた携帯電話「C303CA」がIDO/DDI-セルラーグループより発売

2002 世界最薄（当時）のウェアラブルカードカメラ「EXILIM」発売

2003 A5ファイルサイズの高輝度モバイルプロジェクター「XJ-350」発売

2006 電卓累計販売台数が10億台に到達

2009 「G-SHOCK」の累計販売個数が5,000万個に到達



# Corporate Overview

## 会社概要 (2013年3月31日現在)

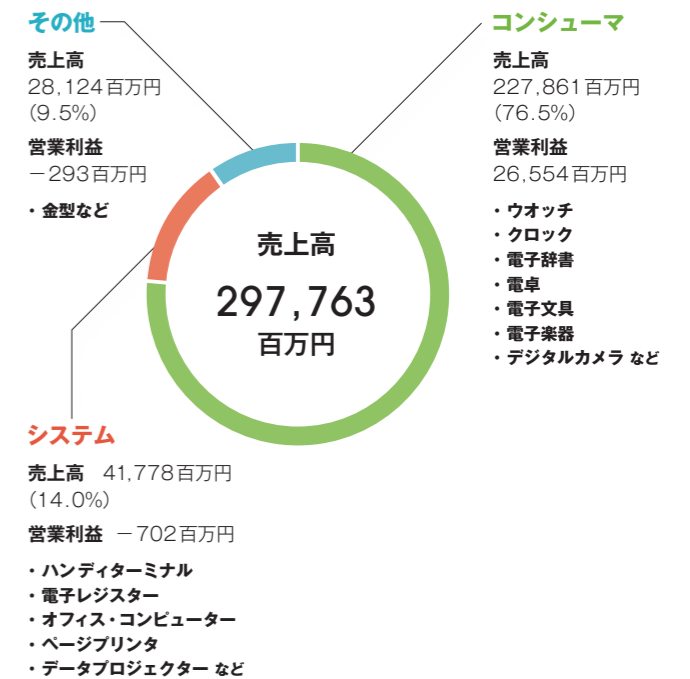
商号	カシオ計算機株式会社
英文商号	CASIO COMPUTER CO., LTD.
本社	〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号
TEL	03-5334-4111 (代表)
設立年月日	1957 (昭和32)年6月1日
資本金	485億9,200万円
従業員数	11,276名 (連結)

## 売上と利益 (2013年3月期 連結)

売上高	297,763百万円
営業利益	20,053百万円
経常利益	19,702百万円
当期純利益	11,876百万円

## 報告セグメントごとの売上高と営業利益

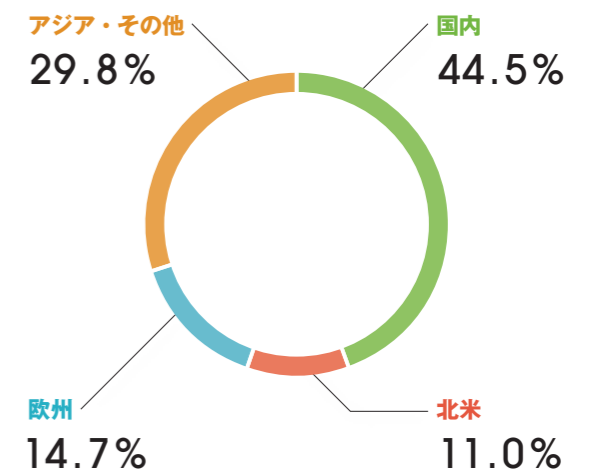
※セグメント別の連結営業利益は調整前の数値です  
(調整額 -5,506百万円)



## 役員 (2013年6月27日現在)

取締役	代表取締役社長	梶尾 和雄
	代表取締役副社長	梶尾 幸雄
	専務取締役	村上 文庸 梶尾 彰
	常務取締役	高木 明德 中村 寛
	取締役	高島 進 増田 裕一 梶尾 和宏 山岸 俊之 小林 誠 石川 博一 (社外取締役) 小谷 誠 (社外取締役)
監査役	監査役 (常勤)	寺尾 康史 (社外監査役) 高須 正
	監査役	大徳 宏教 (社外監査役)

## 地域別売上高比率





# Connected by Values

私たちは、それぞれの国や文化を尊重しながら、  
 地域ごとあるいは世界共通の普遍的な価値観を共有し、  
 人間の知的創造力を高めるために、  
 お客様に新たな感動や喜びを提供する  
 製品・サービスの実現に力を注いでいきます。

## グループ主要企業一覧

### 国内

山形カシオ株式会社  
 カシオ電子工業株式会社  
 カシオテクノ株式会社  
 カシオヒューマンシステムズ株式会社  
 カシオ情報機器株式会社  
 株式会社 CXD ネット  
 カシオマーケティングアドバンス株式会社  
 カシオビジネスサービス株式会社  
 株式会社カシオコミュニケーションブレインズ  
 マス株式会社  
 株式会社フォトハイウェイ・ジャパン

### アジア

Casio Taiwan Co., Ltd.  
 Casio Electronics (Shenzhen) Co., Ltd.  
 Casio Computer (Hong Kong) Ltd.  
 Casio (Guangzhou) Co., Ltd.  
 Casio Electronic Technology (Zhongshan) Co., Ltd.  
 Casio (Shanghai) Co., Ltd.  
 Casio India Co., Pvt. Ltd.  
 Casio Singapore Pte., Ltd.  
 Casio (Thailand) Co., Ltd.

### 米州

Casio Canada Ltd.  
 Casio America, Inc.  
 Casio Mexico Marketing, S. de R. L. de C.V.  
 Casio Brasil Comercio De Produtos Eletronicos Ltda.  
 Casio Latin America S.A.

### 欧州

Casio Electronics Co., Ltd.  
 Casio Europe GmbH  
 Casio France S.A.  
 Casio Benelux B.V.  
 Casio Scandinavia AS  
 Casio Espana S.L.  
 Limited Liability Company CASIO  
 Casio Italia S.r.l.

